



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 日建工学株式会社

コード番号 9767 URL <http://www.nikken-kogaku.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 行本 卓生

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 皆川 曜児

TEL 03-3344-6811

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,516	32.9	55	9.9	52	△17.8	31	△41.1
27年3月期第2四半期	3,398	12.0	50	△41.7	63	△30.2	54	△32.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 3百万円 (△94.2%) 27年3月期第2四半期 62百万円 (△41.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	1.75	—
27年3月期第2四半期	2.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	6,876	2,477	36.0
27年3月期	6,761	2,529	37.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 2,475百万円 27年3月期 2,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00	
28年3月期	—	3.00	—	—	—	
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00	

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	9.0	540	50.6	540	41.1	400	10.0	21.90

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は3ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	18,622,544 株	27年3月期	18,622,544 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	364,666 株	27年3月期	360,310 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	18,259,880 株	27年3月期2Q	18,268,122 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想の前提条件等に関する事項につきましては、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や原油安の状況が継続したこと等から、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな上昇基調で推移いたしました。

当社グループにおきましては、東日本大震災の復興事業における被災3県の海岸堤防、防潮堤工事に提供する製品の出荷が順調に伸長し、売上高は増加いたしました。前年度補正予算で当期に執行される公共工事は前年同四半期比で減少し、型枠貸与事業の売上高は減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、4,516百万円（前年同四半期比1,118百万円増）となりましたが、利益率の高い型枠貸与事業の売上高の減少と、資材・製品販売事業の原価が増加したこと、さらに販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益は55百万円（前年同四半期比4百万円増）、経常利益は52百万円（前年同四半期比11百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31百万円（前年同四半期比22百万円減）となり、増収減益となりました。

事業別の売上高は、型枠貸与事業が715百万円（前年同四半期比152百万円減）、資材・製品販売事業が3,801百万円（前年同四半期比1,271百万円増）となりました。

収益面では、型枠貸与事業の営業利益が9百万円（前年同四半期比33百万円減）、資材・製品販売事業の営業利益が45百万円（前年同四半期比38百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

①資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は6,876百万円となり、前連結会計年度末比114百万円の増加となりました。

その主な要因は、商品在庫の増加による商品及び製品の増加501百万円及び受取手形及び売掛金の減少160百万円等によるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は4,398百万円となり、前連結会計年度末比166百万円の増加となりました。

その主な要因は、仕入債務の支払等による支払手形及び買掛金の増加294百万円等によるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,477百万円となり、前連結会計年度末比52百万円の減少となりました。

その主な要因は、剰余金の配当等による利益剰余金の減少22百万円及びその他有価証券評価差額金の減少29百万円等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下資金という。)は、前連結会計年度末に比べ、216百万円減少し、451百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は14百万円(前年同四半期は211百万円の収入)でした。主に税金等調整前四半期純利益53百万円、売上債権の減少153百万円、仕入債務の増加272百万円による収入と、たな卸資産の増加500百万円による支出等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により支出した資金は57百万円(前年同四半期は75百万円の支出)でした。主に鋼製型枠等有形固定資産の取得による支出53百万円等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金は174百万円(前年同四半期は142百万円の支出)でした。主に長期借入による収入50百万円と、短期借入金返済による支出30百万円、長期借入金返済による支出53百万円、リース債務返済による支出88百万円、配当金の支払額51百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、平成27年5月14日に公表いたしました業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	668,208	451,284
受取手形及び売掛金	3,730,963	3,570,893
商品及び製品	1,050,176	1,551,229
原材料及び貯蔵品	8,994	8,810
繰延税金資産	26,000	26,000
その他	114,510	159,404
貸倒引当金	△8,793	△8,408
流動資産合計	5,590,061	5,759,213
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	534,422	515,930
その他(純額)	171,869	160,720
有形固定資産合計	706,291	676,651
無形固定資産		
15,325		18,922
投資その他の資産		
投資有価証券	273,400	239,246
長期貸付金	76,500	76,500
その他	319,716	324,435
貸倒引当金	△219,864	△218,756
投資その他の資産合計	449,751	421,425
固定資産合計	1,171,369	1,116,998
資産合計	6,761,430	6,876,212
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,928,000	3,222,323
短期借入金	55,000	25,000
1年内返済予定の長期借入金	103,336	120,304
未払金	117,744	96,885
リース債務	196,789	252,075
未払法人税等	23,430	27,173
その他	139,948	89,244
流動負債合計	3,564,248	3,833,007
固定負債		
長期借入金	206,386	186,056
リース債務	364,201	288,057
繰延税金負債	7,440	2,505
退職給付に係る負債	67,884	67,363
その他	21,436	21,436
固定負債合計	667,349	565,419
負債合計	4,231,598	4,398,427

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,427	1,004,427
資本剰余金	541,702	541,702
利益剰余金	938,594	915,748
自己株式	△61,854	△62,703
株主資本合計	2,422,868	2,399,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,446	76,227
その他の包括利益累計額合計	105,446	76,227
非支配株主持分	1,517	2,382
純資産合計	2,529,832	2,477,784
負債純資産合計	6,761,430	6,876,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,398,175	4,516,944
売上原価	2,669,609	3,729,073
売上総利益	728,565	787,871
販売費及び一般管理費	678,199	732,521
営業利益	50,366	55,349
営業外収益		
受取利息	538	597
受取配当金	3,036	3,522
たな卸資産処分益	7,254	581
貸倒引当金戻入額	—	475
為替差益	8,258	—
その他	681	2,436
営業外収益合計	19,769	7,612
営業外費用		
支払利息	5,921	8,384
為替差損	—	475
その他	367	1,592
営業外費用合計	6,288	10,453
経常利益	63,848	52,509
特別利益		
固定資産売却益	—	789
特別利益合計	—	789
税金等調整前四半期純利益	63,848	53,299
法人税等	9,650	20,492
四半期純利益	54,197	32,806
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	865
親会社株主に帰属する四半期純利益	54,197	31,941

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	54,197	32,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,047	△29,219
その他の包括利益合計	8,047	△29,219
四半期包括利益	62,244	3,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,244	2,722
非支配株主に係る四半期包括利益	—	865

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	63,848	53,299
減価償却費	145,487	161,529
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	167	△1,492
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,900	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,875	△520
受取利息及び受取配当金	△3,574	△4,119
支払利息	5,921	8,384
固定資産売却損益 (△は益)	—	△789
為替差損益 (△は益)	△6,496	△1
売上債権の増減額 (△は増加)	1,802,511	153,756
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△289,181	△500,867
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,359,355	272,198
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△22,793	△5,795
その他	△62,591	△101,172
小計	254,166	34,408
利息及び配当金の受取額	3,119	3,553
利息の支払額	△5,921	△8,384
法人税等の支払額	△40,139	△15,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	211,225	14,478
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△70,433	△53,340
有形固定資産の売却による収入	—	1,480
貸付けによる支出	△15,000	—
貸付金の回収による収入	15,000	—
その他	△4,848	△5,199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,282	△57,059
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	30,000	—
短期借入金の返済による支出	△7,500	△30,000
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	—	△53,362
自己株式の取得による支出	△1,028	△848
配当金の支払額	△72,108	△51,517
リース債務の返済による支出	△92,118	△88,616
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142,754	△174,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,468	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△341	△216,923
現金及び現金同等物の期首残高	814,966	668,208
現金及び現金同等物の四半期末残高	814,624	451,284

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	867,620	2,530,555	3,398,175
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	867,620	2,530,555	3,398,175
セグメント利益	43,361	7,005	50,366

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	50,366
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	50,366

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	715,369	3,801,575	4,516,944
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	715,369	3,801,575	4,516,944
セグメント利益	9,577	45,772	55,349

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	55,349
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	55,349

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。